



株主通信

2018年6月発行

Contents

ごあいさつ	01
連結業績の概要	02
セグメント別業績	03
決算情報	04
特集	05
安全・安心への取組み	07
トピックス	09
グループ会社紹介	11
会社の概要	12
ご案内・お知らせ	13
沿線ガイド	裏表紙



ごあいさつ

株主の皆さまには平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

「NANKAI REPORT(株主通信 2018年6月発行)」をお届けするにあたり、ひとことごあいさつを申しあげます。

はじめに、昨年10月の台風の影響により発生した、南海本線男里川橋梁下り線及び高野線上古沢駅構内における線路故障により、株主の皆さまには、大変ご心配をおかけいたしましたことを深くお詫び申しあげます。お客さまの生活を支える社会的使命をあらためて肝に銘じ、構造物の補強などの災害対策を計画的に進め、安全・安心で快適な輸送サービスの提供に努めてまいります。

さて、当社グループでは、2017年度を最終年度とする中期経営計画「深展133計画」に掲げる基本方針・重点項目に従い、各種施策に取り組んでまいりました結果、2017年度の業績は別掲のとおりと相成り、期末配当につきましては、1株につき15円(中間配当金15円*とあわせて年30円配当)とさせていただきます。

当社グループをとりまく経営環境は、なんばエリアの国際的観光地としての人気定着し、インバウンド旅客の増加が続くなどの明るい材料がある一方、沿線人口のさらなる減少やITの進化など、今後一層激しい変化に直面するものと予想されます。このような状況の下、当社グループでは、「南海グループ経営ビジョン2027」を策定し、10年後のありたき姿として「満足と感動の提供を通じて、選ばれる沿線、選ばれる企業グループとなる」ことを掲げました。そのうえで、「選ばれる沿線づくり」及び「不動産事業の深化・拡大」を事業戦略の両輪とし、今後10年間を、なにわ筋線開業(2031年春予定)に向け「沿線を磨く10年間」と定め、持続的な成長をめざしてまいります。その第一ステップとし

※昨年10月1日を効力発生日とする株式併合(普通株式5株を1株に併合)後の金額に換算

て、最初の3年間を「基盤整備期」と位置づけ、同期間を対象とする中期経営計画「共創136計画」に着手いたしました。本計画においては、「安全・安心で良質な交通サービスの提供」、「なんばのまちづくり」、「インバウンド旅客をはじめとする交流人口の拡大」、「駅を拠点としたまちづくり」及び「不動産事業の拡充」の5つを基本方針に掲げ、当社グループと関わりを有するステークホルダーと積極的に協働をはかりながら、「将来の成長のための布石を打つ」ための諸施策を着実に推進してまいります。

当社が難波駅隣接地で建設を進めてまいりました「なんばスカイオ」が、本年10月、いよいよ開業を迎える運びとなりました。関西国際空港に直結するなんばエリアに新たな魅力を創造するランドマークタワーの誕生を、同エリア、ひいては当社沿線エリア全体の活性化の起爆剤として、引き続き沿線価値の向上に注力してまいります。

「南海グループ経営ビジョン2027」及び「共創136計画」の実現に向け、当社グループの役職員全員が一丸となって邁進してまいりますので、なにとぞ株主の皆さまにおかれましては、なお一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。



2018年6月

取締役社長

遠北 光彦

連結業績の概要

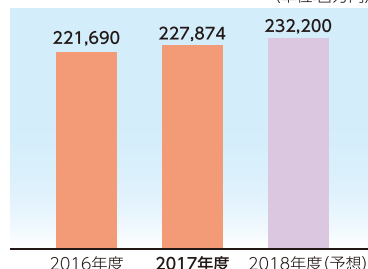
2017年度決算のポイント

台風災害による運休の影響があったものの、関西国際空港関連輸送が好調に推移したことや、分譲マンション引渡戸数が増加したことなどにより、営業利益及び経常利益は、それぞれ過去最高益を計上することができました。一方、親会社株主に帰属する当期純利益は、事業用固定資産の減損損失を特別損失として計上したことなどにより、減益となりました。

営業収益

2,278億74百万円
(前期比2.8%増)

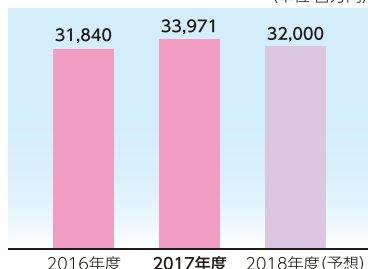
(単位:百万円)



営業利益

339億71百万円
(前期比6.7%増)

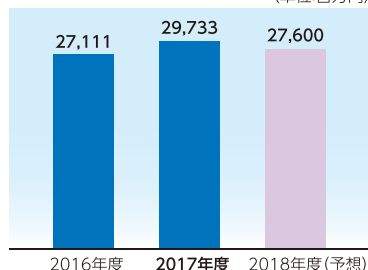
(単位:百万円)



経常利益

297億33百万円
(前期比9.7%増)

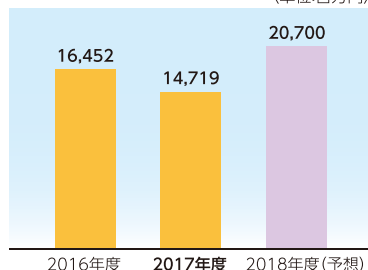
(単位:百万円)



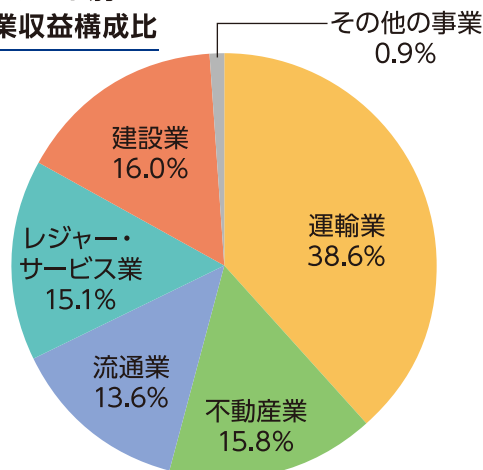
親会社株主に帰属する 当期純利益

147億19百万円
(前期比10.5%減)

(単位:百万円)



セグメント別 営業収益構成比



*構成比は、セグメント間取引を含む営業収益に対する比率です。

期末配当について

当社は、株主の皆さまに対して、安定的な配当を行うことを基本方針としています。この基本方針に基づき、当期の期末配当につきましては、1株につき15円(中間配当金15円*とあわせて年30円配当)とさせていただきます。なお、2018年度の配当につきましては、1株につき30円(中間配当金15円、期末配当金15円)を予定しています。

*昨年10月1日を効力発生日とする株式会社(普通株式5株を1株に併合)後の金額に換算

*上記の予想は、2018年4月27日時点で公表したものであり、実際の業績・配当はさまざまな要因により異なる可能性があります。業績・配当予想に修正が生じた場合は、当社ホームページなどで速やかにお知らせします。

セグメント別業績

運輸業

(36社)



営業 1,008億89百万円
収益 (前期比 1.3%増)

営業 150億 4百万円
利益 (前期比 7.0%減)

台風災害による運休の影響があったものの、関西国際空港関連輸送が好調に推移したことなどが寄与し増収となりましたが、鉄道車両の新造に伴う減価償却費の増加などにより減益となりました。

不動産業

(4社)



営業 412億48百万円
収益 (前期比 21.6%増)

営業 113億47百万円
利益 (前期比 32.2%増)

不動産販売業において分譲マンション引渡戸数が増加したことなどにより、増収増益となりました。

流通業

(11社)



営業 356億 8百万円
収益 (前期比 0.5%減)

営業 40億 11百万円
利益 (前期比 26.1%増)

駅ビジネス事業において、運営を受託していた大阪市交通局駅売店の閉店などにより減収となりましたが、前期にはショッピングセンターのリニューアル関連費用の計上があったこともあり増益となりました。

レジャー・サービス業

(23社)



営業 393億62百万円
収益 (前期比 0.5%減)

営業 18億47百万円
利益 (前期比 0.1%増)

リニューアルに伴いホテル中の島を一部休業したこともあり減収となりましたが、ボートレース施設賃貸業で増益となったことなどにより増益となりました。

建設業

(5社)



営業 418億49百万円
収益 (前期比 7.6%減)

営業 23億37百万円
利益 (前期比 20.9%減)

建設技能労働者不足や、それに伴う労務費の高騰及び建設資材価格の高止まりなどにより、減収減益となりました。

その他の事業

(3社)



営業 22億78百万円
収益 (前期比 13.0%減)

営業 1億78百万円
利益 (前期比 8.2%減)

*セグメント別の会社数は、連結子会社、非連結子会社及び関連会社の合計を記載しています。なお、セグメントの分類上、当社及び泉北高速鉄道株式会社が重複して含まれています。

決算情報

連結貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

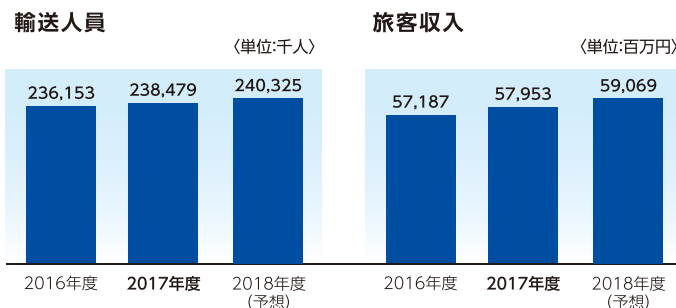
科目	金額	
	前期末 2017年3月31日現在	当期末 2018年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	83,470	79,749
固定資産	807,327	824,107
資産合計	890,798	903,857
(負債の部)		
流動負債	190,491	191,266
固定負債	481,017	479,755
負債合計	671,509	671,022
(純資産の部)		
株主資本	170,527	182,535
資本金	72,983	72,983
資本剰余金	28,089	28,105
利益剰余金	69,559	81,593
自己株式	△104	△146
その他の 包括利益累計額	38,712	39,320
非支配株主持分	10,048	10,978
純資産合計	219,288	232,835
負債純資産合計	890,798	903,857

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	金額	
	前期 (2016年4月1日から 2017年3月31日まで)	当期 (2017年4月1日から 2018年3月31日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	42,753	58,477
投資活動による キャッシュ・フロー	△30,861	△40,669
財務活動による キャッシュ・フロー	△11,906	△16,429
現金及び現金同等物 の増減額	△14	1,379
現金及び現金同等物 の期首残高	18,294	18,342
連結子会社の合併による 現金及び現金同等物の増減額	61	—
現金及び現金同等物 の期末残高	18,342	19,721

運輸成績 (個別)



経営管理指数 (連結ベース)

		2017年度	2020年度目標
収益性	営業利益 ^{※1}	347億円	370億円
財務健全性	有利子負債残高 / EBITDA ^{※2} 倍率	7.6倍	7.5倍以下

※1 営業利益+受取配当金

※2 営業利益+受取配当金+減価償却費

2018年度以降、成長戦略として共同出資などのアライアンスを積極的に活用するため、数値目標の営業利益は、受取配当金を含めた総額としています。

このため2017年度における「営業利益」及び「有利子負債残高/EBITDA倍率」についても、受取配当金を含めた数値にて算出しています。

南海グループ経営ビジョン2027・ 新中期経営計画「共創136計画」を策定しました

南海グループ経営ビジョン2027

当社グループでは、持続的な成長に向けて長い時間軸で「ありたき姿」を定め、その達成に向けて、各種の施策に真摯に取り組む必要があると考え、南海グループ経営ビジョン2027を策定しました。

- 10年後のありたき姿 / 満足と感動の提供を通じて、選ばれる沿線、選ばれる企業グループとなる
- 10年間の方向性 / なにわ筋線開業に向け、沿線を磨く10年間
- 事業戦略

選ばれる沿線づくり

良質で親しまれる交通サービスの提供
沿線の玄関口・なんばのまちづくり
沿線活性化策を総動員

10年後の人口動態を
転出超過から転入超過に逆転

不動産事業の深化・拡大

収益物件の拡充とフロービジネスへの
進出
物流施設高度化の完了

不動産事業を鉄道と並ぶ柱に育成
(営業利益の過半に)

グループ経営基盤の整備

・事業選別の徹底 ・ITを積極的に活用する企業グループ ・人材戦略 ・財務戦略

2027年度数値目標(連結ベース)

営業利益 ^{※1}	450億円
有利子負債残高/ EBITDA ^{※2} 倍率	6倍程度

※1 営業利益+受取配当金

※2 営業利益+受取配当金+減価償却費

2018年度以降、成長戦略として共同出資などの
アライアンスを積極的に活用するため、数値目標の
営業利益は、受取配当金を含めた総額としています。

3か年経営計画「深展133計画」が終了しました

2015年度から2017年度までを、これまで築いてきた事業基盤を「さらに深耕し展げていく3年間」と位置づけ、泉北関連事業の強化、関空・インバウンド事業の拡大、なんばエリアの求心力向上の3項目を基本方針として諸施策に取り組んだ結果、営業利益、有利子負債残高/EBITDA倍率ともに目標を達成することができました。

連結ベース	2017年度目標*	2017年度実績
営業利益	330億円	339億円
有利子負債残高/ EBITDA倍率	7倍台	7.69倍

※2016年10月31日上方修正

新中期経営計画「共創136計画」

南海グループ経営ビジョン2027の実現に向けた第一段階の取組みとして、当初3年間(2018年度～2020年度)を「将来の成長のための布石を打つ」ための「基盤整備期」として位置づけ、同期間を対象とする新中期経営計画を策定しました。自前主義にこだわるのではなく、当社グループと関わるすべての関係先・ステークホルダーと共に、将来における成長の実現と新たな価値の創造を行うことが必要であると考え、この3年間で「共に創っていく3年間」と位置づけ、「共創136計画」と命名しました。

■基本方針

1. 安全・安心で 良質な交通サービスの提供



(イメージ)

- 災害対策やホーム・踏切などの安全性向上に取り組みます。
- 車両や駅トイレの集中的・計画的な更新を実施します。
- なにわ筋線計画(開業予定:2031年春)を着実に推進します。

2. なんばのまちづくり



- なんばエリアでの新規物件の取得や既存保有物件のリノベーションに取り組み、南海ターミナルビル近接ゾーンを充実させます。
- 「なんば～新今宮・新世界」の南北軸形成のため、周辺エリアの開発を推進します。

3. インバウンド旅客をはじめとする 交流人口の拡大



- インバウンド旅客をはじめとするお客さまの利便性向上施策を実施します。
- 沿線各所の特長を活かした観光振興をはかります。

4. 駅を拠点としたまちづくり



和歌山駅活性化計画(イメージ)

- 周辺地域の特性に応じて、駅の再整備・機能強化をはかります。
- 泉北をはじめとする沿線ニュータウンの再生・活性化に取り組みます。

5. 不動産事業の拡充



北大阪流通センター再開発(第1期計画)(イメージ)

- 北大阪流通センターの高度化を推進します。
- 沿線を中心に多様な不動産ビジネスを展開します。

■ 2020年度数値目標(連結ベース)

営業利益^{※1} 370億円

有利子負債残高/
EBITDA^{※2} 倍率 7.5倍以下

※1 営業利益+受取配当金

※2 営業利益+受取配当金+減価償却費

「共創136計画」に基づく諸施策を一丸となって進めていくことにより、当社グループの持続的な成長と中長期的な企業価値の向上をめざします。

安全・安心への取組み

昨年10月の台風21号の影響により、南海本線男里川橋梁及び高野線上古沢駅構内において線路故障が発生しました。株主の皆さまには、大変ご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。いずれも復旧工事が完了し、列車の運転を再開しています。

■ 男里川橋梁における線路故障について

- 発見日時 2017年10月22日16時40分頃
- 場所 南海本線樽井駅～尾崎駅間の男里川橋梁上
- 原因 大雨に伴う河川増水により発生した橋脚部の洗掘によるもの



歪みが発生した男里川橋梁

▼ 発生当時の状況

難波発和歌山市行普通列車の担当運転士が、男里川橋梁中程の下り線路が曲がった状態で沈み込んでいることを約50m手前で認めたため、直ちに停止の処置を執り、列車は約270m行き過ぎて停止しました。乗務員が確認したところ、同橋梁中程の下り線路が曲がり沈み込んでいました。

▼ 単線での運転再開

2017年11月1日から、上り線を使用した単線での運転を再開しました。

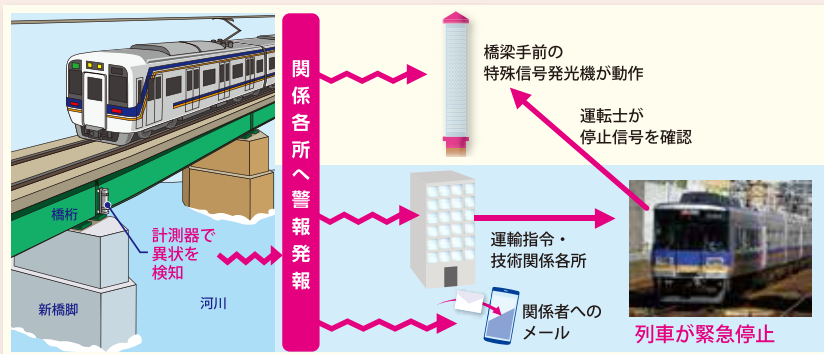
▼ 上下線での運転再開

損傷した下り線の橋脚の前後左右に鋼杭を打ち込み、仮橋脚を立ち上げ、橋桁を元の位置に戻したうえで線路関係を仮復旧し、2017年11月23日から、上下線での運転を再開しました。

▼ 橋脚の新設及び安全対策工事

被災した橋脚を撤去後、杭基礎による鉄筋コンクリート製の橋脚を新設し、2018年5月10日から使用を開始しています。あわせて、橋梁に異状があった際、列車の乗務員へ異状を知らせる装置を導入しています。

イメージ図



▶ 今後の取組み

■ 男里川橋梁の洗掘防止対策

今回被災しなかった橋脚の基礎周囲に、鋼矢板及びコンクリートによる防護工を施工するとともに、河床低下を防ぐための護床ブロックを敷設し、河床の洗掘を防止します。

■ 同種構造橋梁の洗掘防止対策

同種の橋梁についても、必要に応じて洗掘防止対策などを河川管理者と協議しながら推進していきます。

■ 上古沢駅構内における線路故障について

- 発見日時 2017年10月23日6時30分頃
- 場所 高野線上古沢駅構内
- 原因 大雨により発生した地すべりによるもの

▼ 発生当時の状況

安全確認のため巡回中の係員が、上古沢駅構内の上り線分岐器付近の路盤(線路を支えている地盤)が下がっているのを発見しました。

<地すべりの状況>

当社及び和歌山県が行った上古沢駅構内及び周辺の現地調査の結果、線路を含む、幅約60m、斜距離約100m、深さ最大約23mにわたって地すべりが発生したことが判明しました。



地すべりで
線路が
浮いて
いる

上古沢駅構内の状況(10月23日)



アンカー工

▼ 運転再開のための復旧工事*

のり面に地盤の滑落を防ぐためのアンカー工2列を施工し、線路に近いのり面の地盤を安定させました。

▼ 運転再開

2018年3月31日から、高野下駅～極楽橋駅間の運転を再開しました。

▼ 列車行き違い機能の移設及び安全対策工事

運転再開にあわせて、多客に対応できる輸送力を確保するため、上古沢駅から下古沢駅に列車行き違い機能を移設しました。また、上古沢駅付近の斜面对策工事のほか、傾斜計に連動した警報装置及び列車を停止させるための特殊信号発光機を設置しました。

▼ 運転再開後の復旧工事*

運転再開後、のり面下部にアンカー工6列の施工と恒久的な地下水排除設備を設置して、地すべりを完全に安定させるための工事を進めています。

※地すべり対策工事は、災害復旧事業として国・和歌山県が費用を負担し、当社が受託しています。

- ▶ 今回の台風被害を受け、大震災や局地的豪雨など、年々高まる自然災害リスクを軽減するために、防災・減災対策を計画的に進めていきます。また、お客さまがご利用になる駅ホームや踏切道の安全性向上に取り組むとともに、外部機関と連携した訓練を実施するなど、ハード・ソフトの両面から、共創136計画の基本方針である「安全・安心で良質な交通サービスの提供」に努めていきます。



踏切改良工事



訓練での様子

「なんばスカイオ」が誕生します!

2015年9月から難波駅隣接地で建設を進めてきた「なんばスカイオ」が、本年10月、いよいよ開業します。地上31階・地下2階からなるこのビルは、地下1階から6階は商業・金融・サービスフロア、7・8階は都市型コンベンションホール、9階は先端・予防医療に対応した大型クリニック、13階から30階はオフィスというフロア構成で、国内外からの来訪者をおもてなしする情報発信・サービス機能を整備。関西国際空港に直結するインターナショナルゲートシティ・なんばの新たなランドマークタワーが誕生します。



伝統・文化の体験工房

ほんまもん



5階は「日本の伝統文化」にフォーカスしたお店が登場。
世界に向けて日本の伝統文化を発信していきます。



カラダのデザインサイト

ヘルシー・ラボ



6階には「健康」をコンセプトにしたフロアが誕生。
楽しく体験【食べる・動く・はかる】することで、人々の健康を
ワンストップでトータルサポートします。

さまざまな魅力あふれるフロアがオープンする予定ですので、
南海ターミナルビル再生の集大成となる「なんばスカイオ」にご期待下さい。

名称について

NAMBA
SkyO

関西国際空港に直結するインターナショナルゲートシティ・なんばのランドマークとして、世界の「空=Sky」を飛び回る国際的な交流拠点であることを表現しています。「O」は地球であり、大阪(Osaka)を象徴。世界中の人々がこの大阪に集い、つながって、大きな「輪」が広がる場になっていく、そんな願いを込めています。

[「なんばスカイオ」公式サイト](#)

[なんばスカイオ](#)

[検索](#)

りんくうタウン・東京都港区赤坂に 宿泊施設がオープン!!

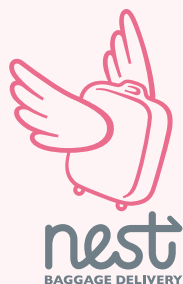
「ハタゴイン関西空港」

本年3月、りんくうタウン駅近くの社有地に「ハタゴイン関西空港」がオープンしました。ソラーレ ホテルズ アンド リゾーツ株式会社が運営するこのホテルは、ロードサイドの立地で、ホテルの機能と日本伝統の「旅籠」を融合させることをコンセプトとしています。館内には、約10,000冊ものコミックなどを揃えたライブラリーラウンジのほか、旅の疲れをいやす大浴場を設け、新しいスタイルの「旅籠」を提案しています。



「ナインアワーズ赤坂」

本年5月、東京都港区赤坂の社有地に、株式会社ナインアワーズが運営するカプセルホテル型宿泊施設「ナインアワーズ赤坂」がオープンしました。従来のカプセルホテルの閉鎖的なイメージを覆す洗練されたデザインで、外の視線を遮りながら、開放的で自然光や周辺の緑を感じることができる明るい空間となっています。インバウンドのお客さまをはじめ、観光・ビジネスでの宿泊に新しい価値を提供しています。



手ぶら観光窓口「^{ネスト}nest」を開設しました

本年3月、難波駅2階に手ぶら観光窓口「nest」を開設しました。

ここでスーツケースなどをお預かりしたり、お土産を宅配便で全国に発送したりすることで、これまで大きな荷物を持って観光されていたお客さまに、手ぶらで観光やお買い物をお楽しみいただけます。今後も、関西空港駅で「nest」の開設を予定しているほか、手荷物を宿泊施設へ当日配送するなど、サービスの拡充に取り組んでいきます。

「nest」の 由来について

- n... No Baggage(荷物なし)
- e... Equipment free(装備なし)
- s... Service for(サービス)
- t... Tourists(旅行者)

南海バス株式会社

堺市以南の大阪府南部を地盤とし、路線バス、高速バス、空港リムジンバス事業などを営んでいます。路線バスは94路線※、1日の実車キロは約46,000kmにもものぼり、毎日地球1周をはるかに超える距離を運行し、地域の皆さまに安全・安心で快適な輸送サービスを提供しています。

また、円滑な乗降を可能とする交通系ICカードシステムやバスの運行状況をリアルタイムにお伝えするバスロケーションシステムを導入するなど、「乗ってみよう」「また乗りたい」と感じていただける魅力あるバスとなるよう、お客さまのさまざまなニーズに対応し、地域に根差した路線の展開に取り組んでいます。 ※2018年3月31日現在



関西国際空港内において 連節バスを導入しました



2017年春、国内外からのお客さまで賑わう関西国際空港の第1・第2ターミナル間を結ぶ連絡バスに、「連節バス」を導入しました。全長約18m、標準ノンステップバスの約2倍の輸送力を誇るこのバスの導入により、お客さまの利便性・快適性の一層の向上をはかりました。今後も拡大を続ける航空需要に対応し、関西の玄関口・関西国際空港において、安全・安心で、便利・快適なバス輸送サービスを提供できるよう取り組んでいきます。

会社の概要

会社概要

創設	業立	1885年12月27日
資本金	1925年3月26日（会社の設立登記	1925年3月28日）
発行済株式総数	729億8,365万4,121円	
株主数	1億1,340万2,446株	
従業員数	52,529名	
本店	2,615名	
本社事務所	大阪市中央区難波五丁目1番60号	
事業内容	大阪市浪速区敷津東二丁目1番41号	
	鉄道事業	
	開発関連及び付帯事業	
	開発事業、流通事業、土地建物賃貸事業、遊園事業	
営業キロ程	154.8km	
車両数	688両	

(2018年3月31日現在)

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 3月31日
	期末配当 3月31日
	中間配当を行う場合 9月30日
	その他必要がある場合 あらかじめ公告して定めた日
公告方法	電子公告
公告アドレス	http://www.nankai.co.jp/ir/koukoku/index.html (事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告を することができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う)
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
	電話照会先 ☎ 0120-782-031
ホームページアドレス	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

【株式に関する住所変更等のお届け及びご照会先について】

証券会社に口座をお持ちの株主さま



株主さまの口座のある証券会社*

証券会社に口座をお持ちでない株主さま
(特別口座の株主さま)



三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(上記電話照会先)

※但し、郵便物の発送・返戻の確認、支払期間経過後の配当金の取扱いについては、三井住友信託銀行株式会社証券代行部にお問い合わせ下さい。

役員

取締役社長兼CEO (代表取締役)	遠北光彦
専務取締役	金森哲朗
専務取締役 (代表取締役)	高木俊之
取締役相談役	山中諄
常務取締役	岩井啓一
常務取締役	芦辺直人
常務取締役	浦地紅陽
取締役	住田弘之
取締役	佃吉朗
取締役	梶谷知志
取締役	増倉一郎
取締役	村上仁志
取締役	園潔
常任監査役 (常勤)	藤田隆一
常任監査役 (常勤)	勝山正章
監査役	奥正之
監査役	荒尾幸三
監査役	饗庭浩二
執行役員	榭元政明
執行役員	中林誠
執行役員	松川康司
執行役員	伊藤健
執行役員	田内信彦
執行役員	清原康仁
執行役員	西山哲弘

(2018年6月22日現在)

ご案内・お知らせ

株主ご優待制度

次のとおり株主ご優待証類を贈呈いたします。

2017年10月1日を効力発生日とする株式会社併合（普通株式5株を1株に併合）に伴い、株主優待発行基準を変更しましたが、**実質的な発行基準に変更はありません。**

所有株式数 (株式併合前)	優待内容	6回乗車 カード	定期券式乗車証		みさき公園 割引券・ ご招待券
			軌道・バス 割引付		
1,000株以上 5,000株未満	200株以上 1,000株未満	1枚	—	—	入園料金 50%割引券 3枚
5,000株以上 10,000株未満	1,000株以上 2,000株未満	2枚	—	—	ご招待券 3枚
10,000株以上 20,000株未満	2,000株以上 4,000株未満	3枚	—	—	
20,000株以上 30,800株未満	4,000株以上 6,160株未満	5枚	—	—	
30,800株以上 51,100株未満	6,160株以上 10,220株未満	1枚	1枚	—	
51,100株以上 200,000株未満	10,220株以上 40,000株未満		—	1枚	
200,000株以上 500,000株未満	40,000株以上 100,000株未満		—	2枚	
500,000株以上 1,000,000株未満	100,000株以上 200,000株未満		—	3枚	
1,000,000株以上 10,000,000株未満	200,000株以上 2,000,000株未満		—	5枚	
10,000,000株以上	2,000,000株以上	—	—	10枚	

大阪府みどりの基金(共生の森づくり基金) への寄付について(ご報告)

2017年10月から2018年3月までに、株主さまから320枚の6回乗車カードをご返送いただきましたので、当社において、苗木960本分相当額を寄付いたしました。たくさんの寄付制度のご利用ありがとうございました。

※「大阪府みどりの基金(共生の森づくり基金)」への寄付をご希望される場合、6回乗車カード(有効期間内、6回未使用に限る。)をご返送下さい。カード1枚につき苗木3本分相当額を当社から同基金に寄付させていただきます。

贈呈時期及び有効期間

資格確定日	贈呈時期	有効期間
3月31日	6月下旬	7月11日～翌年1月10日
9月30日	12月上旬	翌年1月11日～7月10日

●6回乗車カード及びみさき公園割引券・ご招待券につきましては、お手許に届いた日からご利用いただけます。

●みさき公園割引券・ご招待券をご利用の際は、休園日にご注意下さい。

上記のほか、毎年3月31日の最終の株主名簿に基づき100株以上ご所有の株主さまに「株主ご優待チケット」(当社グループの施設などで優待サービスを受けていただけるチケット冊子)を贈呈します(毎年6月下旬発送予定)。

株主ご優待制度の詳細については、当社ホームページ(<http://www.nankai.co.jp/>)でご案内しています。

証券会社に口座をお持ちでない株主さまへ

株券電子化(2009年1月5日実施)前に証券保管振替機構(ほふり)をご利用されておらず、その後も証券会社に口座をお持ちでない株主さまの株式は、当社が三井住友信託銀行に開設した特別口座で管理されています。特別口座のままでは、株式の譲渡や相続のお手続きができないなどの制約があります。今後のお手続きをスムーズに進めるためにも、お早めに証券会社の口座(一般口座)に株式を振り替えていただきますようお願い申し上げます。

これでスムーズに株式の手続きができるようになるね。



● 特別口座から一般口座への振替方法

①【証券会社に口座を開設】

証券会社に株主さまご自身名義の口座を開設して下さい。

②【口座振替申請書を請求】

三井住友信託銀行又は①の証券会社に、口座振替申請書を請求して下さい。

③【口座振替申請書の提出】

口座振替申請書に必要事項を記入し三井住友信託銀行への届出印をご押印のうえ、同行又は①の証券会社にご提出下さい。なお、振替には1週間程度かかります。

証券会社の
▶ 口座への
振替完了

《特別口座についてのお手続先・お問い合わせ先》 三井住友信託銀行 証券代行部 ☎ 0120-782-031

第101期定時株主総会を開催しました

第101期定時株主総会を2018年6月22日に開催し、下記事項につき報告並びに決議(原案どおり承認可決)されました。

報告事項

- 1 第101期(2017年4月1日から2018年3月31日まで)事業報告、連結計算書類及び計算書類の内容報告の件
- 2 会計監査人及び監査役会の第101期連結計算書類監査結果報告の件

決議事項

議案 剰余金の配当の件

沿線ガイド

「天野山 金剛寺」平成大修理 -300年の時を経て-

河内長野市にある「天野山 金剛寺」は、奈良時代、行基によって開かれ、平安時代には弘法大師が密教の修業をした聖域と伝えられています。一時は荒れ果てていましたが、平安時代後期に阿観上人が復興を開始。高野山から拝受した弘法大師像の法要を始めるとともに、金堂などの伽藍が再興されました。そして、阿観上人に深く帰依した八条女院の後ろ盾もあり、金剛寺は巨大な境内都市へと発展していきました。高野山が女人禁制だったこの当時、金剛寺は女性の参詣を受け入れていたことや八条女院の付き人、浄覚と覚阿が院主だったことから「女人高野」と呼ばれるようになりました。

金堂は、1605年に豊臣秀頼が、続いて1700年に岸和田藩主・岡部美濃守長泰が徳川幕府の命を受けて、大規模な改修を行いました。その後、大規模な修理は行わ



れていませんでしたが、約300年ぶりとなる「平成大修理」が2009年に始まりました。建物ごとに調査・設計を行ったうえで、古い素材を活かした保存修理を実施し、昨秋、約9年もの歳月をかけ

て完了しました。「平成大修理」では、金堂に安置されている

もくぞうだいにてにょらいごぞう
「木造大日如来坐像」

もくぞうごうさんげみょうおうごぞう もくぞうふ
「木造降三世明王坐像」「木造不動明王坐像」の3軀の仏像も調査・

修理がなされ、「木造不動明王坐像」が仏師・快慶の高弟である行快の作で、1234年に完成したことが判明。坐像は、それぞれが重要文化財として指定されていました

が、今回の調査を経て、3軀が1件の国宝として指定されました。

金剛寺には、時の権力者とながかりを持ち、長きにわたり寺院の存続と運営を行ってきた証ともいえる文書や物品の数々が、今も残されています。

かつての輝きを取り戻した「天野山 金剛寺」。室町時代に造られた四季折々の花々で賑わう庭園を眺めながら、歴史を感じてみてはいかがでしょうか。

～金剛寺へのアクセス～

高野線「河内長野駅」から南海バス「天野山」下車



マイナンバーお届出に関する
お問い合わせ先のご案内

株式の税務関係の手続き(税務署への配当金に関する支払調書の提出など)において、株主さまのマイナンバーが必要になりますので、お取引のある証券会社などへお問い合わせ下さい。

南海電気鉄道株式会社

〒556-8503 大阪市浪速区敷津東二丁目1番41号 総務部 電話 06-6644-7121
ホームページアドレス <http://www.nankai.co.jp/>

証券コード 9044



見やすいユニバーサル
デザインフォントを
採用しています。